

事務事業点検・評価報告書

(令和4年度事業分)

相生市教育委員会

— 目 次 —

1	はじめに	1
2	事務事業評価について	2
3	令和4年度 教育委員会事務事業評価結果一覧	6
4	第三者評価対象事業	12

1 はじめに

(1) 点検・評価について

教育委員会における事務事業の点検・評価については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

このため、相生市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、令和4年度における本市の教育に関する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い報告書としてまとめました。

(2) 実施方法について

事務事業の点検・評価は、相生市が毎年実施している行政評価システム（市長部局で実施している事務事業を対象とした評価システム）を活用しています。

(3) 点検・評価方法について

教育委員会が実施した事務事業の点検・評価の方法は、事後評価とし、各事業に対する住民等のニーズからその事業実施後の結果・成果を総合評価したうえで、更にその事業の今後の方向性の評価を行います。

結果については数値化し、今後の方向性について、具体的な方針を示しています。

(4) 第三者評価について

相生市行政評価システムにおいて、その評価の客観性及び信頼性を一層高めるため、教育に関し学識経験を有する者を含む外部委員による専門的な観点からの意見及びサービスの受け手としての市民からの意見等を提言することを目的に、第三者評価を実施しています。

なお、事務事業の全てが第三者評価の対象ではなく、第三者評価委員会より指定された事業を評価するものとしています。

このため、教育委員会の事務事業についても、第三者評価の対象として指定されています。

2 事務事業評価について

(1) 事業の種類

事務事業を効率的かつ効果的に評価を行うため、事業を次の6種類に分類し、そのうち2分類を評価の対象としています。

事業の種類		定義	評価対象
1	法定受託業務	法令等により国や他の地方公共団体に代わって処理する業務	対象外
2	内部管理業務	直接的な市民サービスの提供を伴わない本市内の行政運営を管理する業務（事務経費、人件費等）	対象外
3	ソフト事業（義務）	上記及び施設関連事業を除く事業のうち、法令等により地方自治体として実施を義務付けられた事業	対象外
1 1	ソフト事業	施設等の整備を除く事業のうち、本市が自主的に実施する事業（施設等管理運営事業は含む）	対象
1 2	施設等整備事業（ハード事業）	道路、公園、市民が利用する施設・情報システムなどの整備事業（維持修繕は含まない）	対象
2 1	施設等維持修繕事業	道路、公園、市民が利用する施設・情報システムなどの維持修繕のみを行う事業	対象外

(2) 評価項目

事務事業の総合評価は、【妥当性評価】【有効性評価】【効率性評価】【改革・改善プラン達成度評価】【透明性評価】の5つの観点による評価結果を点数換算し、その合計点によってA～Dの4段階で評価します。

それぞれの観点によって重みづけが異なり、妥当性評価と有効性評価は3倍（30点満点）、効率性評価は2倍（20点満点）、改革・改善プラン達成度評価と透明性評価は1倍（10点満点）で総合評価点を算出します。

【総合評価】

点数	100～	80～	60～	40～
総合評価	A	B	C	D

【項目評価】

評価項目	評価観点	評価軸
【妥当性】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的は、社会情勢や市民のニーズに適合しているか ・ 市の負担や補助の割合は適切であるか、また、官民の役割分担として市が関与すべきか ・ 今、実施することが適切であるか、また、他に優先すべき事業はないか 	<p>A:妥当性が高い B:比較的妥当である C:妥当性が低い D:妥当でない</p>
【有効性】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の成果は、社会情勢や市民のニーズに適合しているか ・ 成果は到達目標に向けて向上しているか ・ 上位の施策に対し、貢献できているか 	<p>A:有効性が高い B:比較的有效である C:有効性が低い D:有効でない</p>
【効率性】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業コストの節減が行えているか ・ 実施する手段は最適であるか（民間活用等の見直しの必要はないか） ・ コストの負担割合、補助の対象範囲は適切であるか ・ 執行体制や執行方法は効果的か（もっと簡素化する見直しの必要はないか） 	<p>A:効率性が高い B:比較的効率的である C:効率性が低い D:効率的でない</p>
【改革・改善プラン達成度】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民サービス向上の改革・改善効果が見られたか、また、サービスの質的な向上の改革・改善効果が見られたか ・ 組織運営上または施設管理上の改革・改善効果が見られたか ・ 関係法令等が意図する状態に合致する改革・改善効果が見られたか 	<p>A:改革・改善効果が高い B:比較的改革・改善効果がある C:改革・改善効果が低い D:改革・改善効果がない</p>
【透明性】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民に積極的な情報公開、情報提供、PRを行っているか ・ コミュニティ組織育成の視点で人材や組織の育成や啓発に努めているか ・ 人権、男女共同参画、国際平和と国際交流、地球環境、文化的まちづくり、次世代育成や産業振興のいずれかの視点で事業実施しているか 	<p>A:透明性が高い B:比較的透明性を確保している C:透明性が低い D:不透明である</p>

(3) 事務事業の方向性評価

事務事業の方向性評価では、基本特性区分等の基本情報、活動指標による評価、コスト指標による評価、総合評価（妥当性、有効性、効率性、改革・改善プラン達成度、透明性）の結果を踏まえ、各事業の次年度の方向性を評価します。

評価項目	評価軸
【方向性評価】	A:拡大 B:現状のまま継続 C:改善・見直しの上で継続 D:縮小 E:廃止 F:期限到来に伴う終了 G:その他（保留・再検討）

(4) 評価指標

事務事業の評価指標は「活動指標」と「コスト指標」の2種類とし、活動指標は「その事業が正しい方向を向いて活動できているか。」をみる【質】をはかる指標と「その事業が適切に活動できているのか。」をみる【量】をはかる指標を設定し、評価を行います。

コスト指標では、事業費（フルコスト）と活動指標で設定した指標に応じて、費用対効果を測定します。

$\frac{\text{事業費（フルコスト）}}{\text{活動指標で設定した計画値または実績値}}$	単位当たりの経費を算出する方法
$\frac{\text{活動指標で設定した計画値または実績値}}{\text{事業費（フルコスト）}}$	千円あたりの活動量を算出する方法

(5) 第三者評価

ア 評価対象

ヒアリングの対象は、担当課において課題があると自己評価を行っている事業から下記の事業が第三者評価の対象となりました。

◎令和5年度第三者評価対象事業

事務事業名	課名
学校支援地域本部事業	教育委員会生涯学習課

イ 評価観点

施策から見た場合の評価及び事務事業単体としての評価の2つの視点において、各事務事業の評価を行いました。

(ア) 構成事務事業の事後総合評価（施策からみた評価）

施策目標の達成のために、それぞれの事業がどれほど貢献しているか、また、同一施策内の構成事務事業と相対的に比較した場合の優先度はどうかを評価します。

(イ) 事務事業の方向性評価（事業単独の評価）

事務事業単体として、どれくらいの成果がでているかを事業目的・指標に注視しながら評価します。評価観点は以下の項目となります。

①事業目的・指標について

- ・事業の目的が第6次総合計画の基本方針に沿って設定されているか
- ・目的の進捗、成果を確認するための指標が適切であるか

②妥当性について

- ・事業の目的は、社会情勢や市民のニーズに適合しているか
- ・市の負担や補助の割合は適切であるか、また、官民の役割分担として市が関与すべきか
- ・今、実施することが適切であるか、また、他に優先すべき事業はないか

③有効性について

- ・事業の成果は、社会情勢や市民のニーズに適合しているか
- ・成果は到達目標に向けて向上しているか
- ・上位の施策に対し、貢献できているか

④効率性について

- ・事業コストの節減が行えているか
- ・実施する手段は最適であるか（民間活用等の見直しの必要はないか）
- ・コストの負担割合、補助の対象範囲は適切であるか
- ・執行体制や執行方法は効果的か（もっと簡素化する見直しの必要はないか）

⑤改革・改善プラン達成度について

- ・市民サービス向上の改革・改善効果が見られたか、また、サービスの質的な向上の改革・改善効果が見られたか
- ・組織運営上または施設管理上の改革・改善効果が見られたか
- ・関係法令等が意図する状態に合致する改革・改善効果が見られたか

⑥透明性について

- ・市民に積極的な情報公開、情報提供、PRを行っているか
- ・コミュニティ組織育成の視点で人材や組織の育成や啓発に努めているか
- ・人権、男女共同参画、国際平和と国際交流、地域環境、文化的まちづくり、次世代育成や産業振興のいずれかの視点で事業実施しているか

3 令和4年度 教育委員会事務事業評価結果一覧

1 未来を担う人と文化を育むまち
(1)輝く子どもを育むまちづくり

基本施策	取り組み事項	事務事業名	担当課名	令和4年度決算			評価項目					総合	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
				人件費	事業費	支出合計	妥当性	有効性	効率性	改革/改善	透明性		方向性	所見	方向性	所見
学びの環境の充実	教育の機会均等を確保する	相生市奨学金事業	管理課	917,985	700,000	1,617,985	A	A	B	C	B	A	C	進学進級支度金額の改定が必要である。	C	物価高騰により進学時及び進級時における準備費用が増大しているため、進学進級支度金額の改定が必要である。
		小学校通学費補助事業	管理課	581,390	305,210	886,600	A	A	B	B	A	A	B	誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。	B	適応教室通学者も対象としており、現状を維持することが最適である。
		中学校通学費補助関係事業	管理課	458,992	104,915	563,907	A	A	B	B	A	A	B	誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。	B	適応教室通学者も対象としており、現状を維持することが最適である。
	子どもの育成環境の充実を図る	預かり保育事業	管理課	10,016,594	469,142	10,485,736	A	A	B	B	A	A	B	教育と子育ての両面において引き続き支援し、子どもたちを守り育てるまちづくりにつなげる。	B	多様化する保護者のニーズの把握に務め、事業を継続していく。
		放課後児童保育事業	生涯学習課	32,055,794	9,995,232	42,051,026	A	A	A	A	B	A	B	就労形態の多様化や、一人親世帯の増加等により、放課後児童保育のニーズは高まっている。保護者が安心して仕事と子育ての両立を図れるよう、引き続き学校と密に連携とり現在の体制の継続の維持を図る。	A	家庭を取り巻く社会状況が変化しており、放課後の子どもの居場所づくりが重要となっています。保護者が安心して働きながら、子育てと仕事の両立を図れるよう、放課後保育サービスの充実を実現していく。
		学校支援地域本部事業	生涯学習課	1,450,120	222,800	1,672,920	A	A	A	B	B	A	A	学校の要望に応じ、地域住民が自らの経験や知識を活かして学校管理下の教育活動の支援を行うもので、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てる環境整備することは、地域の絆の強化を図る側面もあり重要である。	A	学校支援ボランティアは児童・生徒との触れ合いに満足感を得ることができ、学校は支援を受けることで環境の整備が進んだり、よりきめ細やかな指導が可能になったりするなど、双方にとって有益であるため、今後も拡大を図っていく必要がある。
		相生っ子学び塾事業	生涯学習課	3,697,878	2,646,565	6,344,443	A	A	A	A	A	A	B	基礎学力の定着と自学自習の姿勢の習得、誰もが等しく学べる機会の確保には継続した取り組みが不可欠であるが、安定的な講師の確保と、教科書の進度に沿った指導及び子どものニーズに合った指導が求められる。	B	子どもの将来性を育むためにも等しく学べる機会の確保は不可欠である。
		青少年育成補助金事業	生涯学習課	305,995	125,000	430,995	B	B	C	B	B	B	B	学校・家庭・地域が一体となって、心豊かでたくましい子どもを育む環境の維持にはPTA活動が重要な役割を果たす。	B	子どもに対する教育・健全育成は社会要請であり、必要不可欠である。
		青少年育成事業	生涯学習課	2,498,339	620,000	3,118,339	B	B	A	B	A	A	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策により、3年連続で国内交流事業は実施できなかったが、次世代を担う青少年が集い、多様な経験を得ることのできる事業は、心豊かでたくましい子どもを育むには重要である。	B	子どもたちが、日常生活と違った文化を学習し、「須崎市の生活や文化に触れる体験」をさせ、異文化交流を体験することで、自分達が育った郷土に対する理解と関心を深め、郷土を愛する心を育てることが期待できる。

基本施策	取り組み事項	事務事業名	担当課名	令和4年度決算			評価項目					総合	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
				人件費	事業費	支出合計	妥当性	有効性	効率性	改革・改善	透明性		方向性	所見	方向性	所見
学びの環境の充実	子どもの育成環境の充実を図る	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	3,409,794	1,423,757	4,833,551	A	A	B	A	B	A	B	放課後の子ども達の安全・安心な居場所作りの推進のためには不可欠な事業である。また、学習の習慣づけや外遊びの見守りなどで、教育活動サポーターとして地域の方々に参画していただくことで、異年齢交流の側面も併せ持つ。	B	少子化や核家族化が進展し、地域社会での人間関係が希薄化しており、学校・家庭・地域のつながりの強化と教育力の向上は必要である。また、放課後活動だけでは、昔遊びや文化的な活動等までできていないが、サタデースクールで昔遊び・文化的な活動をサポーターだけでなく、市内全部の学校の児童との交流活動も含めて実施できている。
知・徳・体の調和のとれた人材の育成	確かな学力を育成する	外国人英語指導助手招致事業	学校教育課	3,206,236	1,154,740	4,360,976	A	B	B	B	B	A	B	生きた英語に触れることで、生徒の語学力やコミュニケーション能力を育成すると共に、異文化に対する理解を深め、英語力の向上が図れているため、継続して実施する。	C	年間配置計画に基づき、事業実施が出来たが、長期休業中等の期間に生徒との関わりが持てるような体制づくりの検討が必要である。
		ぐんぐん学力アップ事業	学校教育課	1,621,120	825,240	2,446,360	A	B	B	B	B	A	B	児童・生徒の学力を分析し、課題を把握することで、授業改善に活かすことができ、学力向上に繋がっているため、継続して実施する。	B	標準学力検査の結果により学力の状況を把握し、分析することで効果的な学習計画を図ることができている。評価と指導の一体化のために本事業は必要不可欠である。
		英語教育推進事業	学校教育課	1,988,968	7,223,700	9,212,668	B	B	B	C	B	B	C	幼児期から外国語に触れる機会を提供することで、英語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力を育成すると共に、異文化に対する理解を深め、英語力の向上が図られている。より英語検定試験が受けやすい環境を整備し、実施していく必要がある。	C	幼児期から、外国語活動や外国語に触れる機会と使用する機会があることで、コミュニケーション能力を育成し、異文化に対する理解を深める場の提供が出来ている。また、英語検定試験を生徒が受験しやすくなるよう検討を行った。
		小学校外国語教育推進事業	学校教育課	2,998,098	15,968,700	18,966,798	B	B	B	B	B	A	B	幼児期から英語力の向上を図り、継続してコミュニケーション能力を育成すると共に、異文化に対する理解を深め、系統的に英語力の向上を図っているため、継続して実施する。	B	幼稚園に引き続き小学校低学年においても、外国語を通じた実践的なコミュニケーションを取る機会を設けることで、英語への興味や関心を育み、異文化に対する理解を深めることが出来ている。
	豊かな心を育成する	小学校体験活動事業	学校教育課	1,682,972	6,630,000	8,312,972	B	B	B	B	B	A	B	集団活動や地域の人々との交流、自然、社会、芸術文化に触れる体験など、児童の発達段階に応じた体系的な体験教育の推進を図っており、豊かな心の育成に必要であるため、継続して実施する。	B	地域の特性を活かした体験活動や、自然学校を通じて児童が人や自然、地域社会と触れあうことができ、主体的に判断、行動し、問題解決する能力を高めることが出来ている。
心豊かな体験活動推進事業		学校教育課	1,912,469	1,803,000	3,715,469	B	B	B	C	B	B	B	トライやる・ウィーク事業等、地域人材を活かした幅広い体験学習を通じて、生徒の自尊感情、他人への思いやり、ふるさとを愛する心を醸成しており、豊かな心の育成が図れているため、継続して実施する。	B	希望職種を体験出来た生徒数は上昇傾向にあるが、目標値の達成には至らなかった。参加事業所を増やすだけでなく、生徒のニーズ等を把握する必要がある。	

基本施策	取り組み事項	事務事業名	担当課名	令和4年度決算			評価項目					総合	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
				人件費	事業費	支出合計	妥当性	有効性	効率性	改革・改善	透明性		方向性	所見	方向性	所見
知・徳・体の調和のとれた人材の育成	豊かな心を育成する	創意ある学校園づくり推進事業	学校教育課	1,376,977	2,000,000	3,376,977	B	B	B	B	B	A	B	校区の特色を活かした授業の実施は、豊かな心を育成するために有効であるため、継続して実施する。	B	身近な市内学校間での合同授業や体験活動、Web会議システムを活用した交流等「多様な学びの場の創造」や、地域の伝統文化等を継承・発展させるための世代を超えた地域での交流を図るなど、「ふるさと教育の推進」を行い、創意工夫された体系的な教育活動の推進とふるさとを愛し次代を担う人材の育成に貢献した。
		芸術文化活動振興事業	学校教育課	305,995	0	305,995	B	C	B	B	B	B	B	令和4年度対象者がいなかった。児童・生徒の文化活動の振興と向上を図るため、継続して実施する。	B	事業の体制整備及び周知徹底を行っているが、対象者がおらず、事業の実施方法を検討しながら、継続していく。
		人権教育事業	人権教育推進室	11,873,179	2,344,630	14,217,809	B	B	B	B	B	A	B	教職員に向けた人権教育の実践についての研修機会の充実や子どもの発達段階と取り巻く状況に対応した取組の継続に努める。	B	学校園の人権教育の推進に向け、情報発信、指導助言、研修の場の設定など、教職員への支援を充実させる。人権教育を核にした道徳教育の系統的な推進に向け、研修を充実させる。
	健やかな体を育成する	学校給食運営事業	学校教育課	148,828,781	124,887,944	273,716,725	A	B	B	B	A	A	B	幼稚園から栄養バランスのとれた学校給食を無料で提供することで、学校給食を食育の「生きた教材」として活用することができ、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を見に付けさせ、健やかな体を育成することができているため、継続して実施する。	B	地場産品を給食へ多く取り入れることで、食育の推進を図り、家庭や地域と連携しながら食育に取り組むことができた。物価高騰しても質の保たれた給食を提供する必要がある。
		クラブ活動運営事業	学校教育課	1,759,471	2,110,030	3,869,501	B	B	B	B	A	A	C	部活動を通して、体力の増進、協調性、創造力の高揚を図ることが出来ている。また部活動指導員を配置することで、顧問の負担軽減と指導の充実を図ることが出来ている。来年度よりクラブ活動の地域移行に関する検討を進める。	C	部活動の加入率について、部員数の減少が続く中、持続可能な運営体制について、地域移行も含め安定した部活動を実現するための検討が必要である。
		学校体育振興事業	学校教育課	2,324,256	5,156,460	7,480,716	B	B	B	B	A	A	B	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、学校における児童・生徒の体力・運動能力向上のため、校内マラソン大会や運動部活動の体育大会への参加等の取組みを行っており、継続した事業実施が必要である。	B	中学校総合体育大会の円滑な運営や、各種大会への参加支援をすることで、運動しやすい環境づくりができ、生徒の体力向上を図れている。
	学びを支える体制の充実を図る	適応教室事業	学校教育課	5,388,515	207,311	5,595,826	A	B	B	B	B	A	B	不登校対策の施設として適応教室「コスモス教室」が、個々の実態に即した支援を行い、学校への復帰や社会的自立に向けて本事業は必要であり、継続して実施する。	B	子どもや保護者からの相談を受け、一人ひとりの特性や家庭環境を考慮しながら、学校への復帰や社会的な自立に向けた適切な支援を行うことが必要である。

基本施策	取り組み事項	事務事業名	担当課名	令和4年度決算			評価項目					総合	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
				人件費	事業費	支出合計	妥当性	有効性	効率性	改革・改善	透明性		方向性	所見	方向性	所見
知・徳・体の調和のとれた人材の育成	学びを支える体制の充実を図る	相生っ子かがやき顕彰事業	学校教育課	474,292	28,540	502,832	B	B	B	C	A	B	B	権威ある大会等において、成績が顕著な中学生以下のものに相生っ子かがやき顕彰を贈呈することで、児童・生徒のスポーツや文化芸術に親しむ心の向上を図っており、継続して実施する。	B	受賞者について、市ホームページや、広報等を活用し、より多くの人へ情報提供できるよう努め、受賞だけでなく、市民や他の児童生徒のスポーツ及び文化芸術の推進を図れた。
		教育研究所運営事業	学校教育課	3,512,232	843,829	4,356,061	B	B	B	B	B	A	B	教職員の資質と実践的指導力の向上のため、教職員の経験に応じた各種研修講座を実施しており、授業実践に活かしているため、継続して実施する。	B	研修内容や研究部会の内容を日々の授業に活用することができている。新型コロナウイルス感染症の影響で全体会が中止となったが、オンラインも含め、今後の研修内容等の検討を行う。
		相生市小中一貫教育推進事業	学校教育課	1,529,975	32,059	1,562,034	B	B	B	B	C	B	B	令和4年度は、研修会を実施し中学校区の連携を深めることが出来た。より充実した教育活動を展開するため、幼稚園から中学校までの12年間を見通した体系的な取り組みが必要であり、本事業を継続して実施する。	B	中学校区の連携を進める取組みが出来た。幼小・中学校が一貫性を持った教育を推進するために本事業は必要不可欠である。
		青少年健全育成活動事業	学校教育課	5,071,319	4,021,663	9,092,982	B	B	B	B	C	B	B	青少年健全育成大会を開催し、家庭・地域・学校の連携を深めるなど、青少年の問題行動の未然防止や不審者等からの子ども見守り、青少年の健全な育成を図っており、継続して実施する必要がある。	B	幅広い分野や各地域から委員を選任し、青少年の健全育成に努めている。また、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、青少年健全育成大会を開催し、家庭・地域・学校の連携をより深めることが出来ている。

(2) 誰もが楽しく学べるまちづくり

基本施策	取り組み事項	事務事業名	担当課名	令和4年度決算			評価項目					総合	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
				人件費	事業費	支出合計	妥当性	有効性	効率性	改革・改善	透明性		方向性	所見	方向性	所見
社会教育環境の充実	文化芸術の振興を図る	文化振興補助金事業	生涯学習課	688,488	590,000	1,278,488	A	A	B	B	B	A	B	ここ数年、相生市文化協会に新規に加入する団体がある。引き続き、相生市文化協会への運営補助を行い、市民の自主的な文化活動を支援するとともに、芸術文化活動助成事業により個人及びグループの発表の機会の充実を支援する。	B	団体数、会員数ともに毎年増加しているため、今後も継続して新規団体の入会を推進するとともに、活発な芸術文化活動を促進していく。
		スポーツ・文化芸術顕彰事業	生涯学習課	229,496	103,710	333,206	A	B	B	B	B	A	B	引き続き、優れた取り組みに対し顕彰を行い、市民の芸術文化活動への関心を高める。	B	今後も継続し、文化活動を行う者の一目標としていく。
		文化振興事業	生涯学習課	6,580,481	2,534,204	9,114,685	A	B	A	B	A	A	C	文化芸術の担い手である市民の創造性や豊かな感性を育み、文化意識の向上を図るために、文化祭・美術展を開催することは不可欠であるが、発表者にとって、より満足度の高い事業となるよう改善を加える必要がある。	C	文化協会の団体数が増えたことで、文化祭に参加希望の団体が増え、開催方法や開催時期について検討した上で事業を進めていく必要がある。

基本施策	取り組み事項	事務事業名	担当課名	令和4年度決算			評価項目					総合	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
				人件費	事業費	支出合計	妥当性	有効性	効率性	改革・改善	透明性		方向性	所見	方向性	所見
社会教育 環境の充実	文化芸術の 振興を図る	相生市文化 会館管理運 営事業	生涯学習課	18,688,100	98,901,596	117,589,696	A	B	B	A	B	A	B	引き続き、幅広い年代の方々を対象に鑑賞と発表の両面から多彩な自主事業を計画し、市民が文化芸術に触れる機会の充実を図る。また、計画的な維持修繕により、市民が快適に過ごすことができる施設の維持に努める。	B	幅広い世代が参加できる事業を創出しながら、親しみのある会館運営を継続していくとともに、中長期修繕計画に基づいた会館設備の更新を行うことで利用者にとって安心安全な会館を目指していく。
		文化財事業	生涯学習課	1,549,383	1,357,540	2,906,923	A	B	B	C	B	A	C	学芸員の採用を計画していたが採用に至らなかった。引き続き、学芸員の採用に努めるとともに、特別展や歴史講座の開催により、ふるさと相生の歴史文化に理解と愛着を深め、ふるさと相生への愛着を育むことができるよう努める。	A	特別展や歴史講座を開催し、市民がふるさと相生の歴史文化に理解と愛着を深め、ふるさと相生への愛着を育むことができるよう努める。
		資料館管理 事業	生涯学習課	2,229,664	11,501,483	13,731,147	A	A	B	C	B	A	A	長年の懸案事項であった、空調の設置が完了した。引き続き、貴重な資料が適切に保存することが出来る環境、来館者が快適に見学できる環境の維持に努める。	A	施設の計画的な維持修繕を行うとともに展示資料の適切な保存ができる環境を整えることで、郷土の歴史文化の啓発の充実を図る。
		スポーツ・文 化芸術顕彰 事業	体育振興課	1,988,968	0	1,988,968	A	A	A	B	A	A	B	引き続き、功績に対し顕彰を行い、市民のスポーツ活動への関心を高める。	B	功績に相応した顕彰を贈呈していく。
	人権啓発活 動を推進する	人権啓発事 業	人権教育推進室	7,820,604	4,927,299	12,747,903	B	B	B	B	B	A	C	市民が参加しやすい環境を整え、新しい人権問題をはじめ、さまざまな人権課題について考えるとともに、学びを通して人と人とのつながりの大切さについても再認識し、住民間の絆をさらに深める機会とする。今後も関係課室と連携し、啓発活動を推進していく。	B	新型コロナウイルス感染症の影響で、参加人数が減少した事業もあったが、概ね予定通り開催することができた。今後、より一層事業の充実を図り、市民の人権意識の醸成に努めたい。
	生涯学習環 境をつくる	公民館活動 事業	生涯学習課	11,776,183	4,872,404	16,648,587	A	A	A	B	A	A	C	地域における学習活動の拠点として、ライフステージや時代のニーズに応じた講座を開設するとともに、地域コミュニティの拠点として同好会活動の活発化に努める。	C	地域に対し公民館が募集している講座等をPRし、住民の文化活動を支援していく。
		多目的研修セ ンター活動事 業	生涯学習課	2,768,329	824,602	3,592,931	A	A	B	A	A	A	C	地域における学習活動の拠点として、ライフステージや時代のニーズに応じた講座を開設するとともに、地域コミュニティの拠点として同好会活動の活発化に努める。	C	地域住民の文化的な活動を支援するため拡大していく必要がある。
		高齢者教育 事業	生涯学習課	2,649,658	1,253,860	3,903,518	A	B	A	B	B	A	C	定年延長や学習手段の多様化などで、金ヶ崎学園大学の受講者数は減少傾向にあるが、集団で新たに学ぶ機会を通じて自己を高めるだけでなく、地域社会の一員として豊かな知識と経験を活かせる取り組みが必要。	B	高齢者の多様な学習活動、スポーツ、レクリエーション活動などの充実を図る。

基本施策	取り組み事項	事務事業名	担当課名	令和4年度決算			評価項目					総合	施策からみた評価		事業単独でみた評価	
				人件費	事業費	支出合計	妥当性	有効性	効率性	改革・改善	透明性		方向性	所見	方向性	所見
社会教育 環境の充 実	スポーツ活動 の支援・充実 を図る	市民体育館 管理運営事業	体育振興課	2,762,072	22,408,923	25,170,995	B	B	A	C	B	B	B	施設の良い状態を保ちつつ、安全で有効に 利用していただけるよう意識をもって管理してい く。	B	施設の良い状態を保ちつつ、安全で有効に 利用していただけるよう意識をもって管理してい く。
		市民プール管 理運営事業	体育振興課	611,990	6,246,200	6,858,190	B	B	A	C	B	B	B	指定管理者と連携をとりながら今後も適正管理 に努めていく。	B	指定管理者と連携を取りながら今後も適正管理 に努めていく。
		市民グラウン ド管理運営事 業	体育振興課	2,856,482	9,179,164	12,035,646	B	B	A	C	B	B	B	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態 を維持し事業費の節減に努める。	B	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態 を維持し事業費の節減に努める。
		温水プール管 理運営事業	体育振興課	2,294,963	21,757,354	24,052,317	B	B	A	C	B	B	B	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から 市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な 管理運営を進める。	B	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から 市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な 管理運営を進める。
		社会体育振 興事業	体育振興課	5,133,534	2,010,469	7,144,003	A	B	B	B	B	A	B	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活 動を生き生きと展開していく。	B	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活 動を生き生きと展開していく。事業委託料が大 半を占めており、各団体が独自予算で事業を行 うことは困難である。
		ジュニアス ポーツ振興事 業	体育振興課	5,009,830	1,626,390	6,636,220	A	B	B	B	B	A	B	子ども達のスポーツへの関心が高まってきてい る。	B	子ども達のスポーツへの関心が高まってきてい る。事業委託料のみであり、各団体が独自予算 で事業を行うことは困難である。
		レクリエーシ ョンスポーツ振 興事業	体育振興課	6,197,987	3,290,982	9,488,969	A	B	B	B	B	A	B	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーシ ョンスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深め ながら健康的な暮らしを図っていく。	B	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーシ ョンスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深め ながら健康的な暮らしを図っていく。事業委託料 のみであり、各団体が独自予算で事業を行うこ とは困難である。
		スポーツ教室 事業	体育振興課	634,753	799,500	1,434,253	B	B	A	A	B	A	B	当事業は費用対効果に優れた事業である。ス ポーツ人口の裾野の拡大や市民が気軽にス ポーツに親しむ契機となるよう、当事業の継続 が必要である。	B	スポーツを気軽に楽しめる機会と場を通じて、 健康及び体力の保持のみならず、自分もでき るという経験から自信が生まれ、また、人と人の 触れ合いから仲間意識や人の温かみを感じる 機会が生まれる。

4 第三者評価対象事業

(1) 評価対象事業 結果比較

ア 施策からみた評価

事務事業名	担当課	行政改革 推進委員会	第三者 評価委員会
学校支援地域本部事業	拡大	継続 (現状のまま)	継続 (改善・見直しの上)

イ 事業単独でみた評価

事務事業名	担当課	行政改革 推進委員会	第三者 評価委員会
学校支援地域本部事業	拡大	継続 (改善・見直しの上)	継続 (改善・見直しの上)

(2) 第三者評価ヒアリング個別シート

事務事業名	学校支援地域本部事業		
評価結果			
施策からみた評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 現状のまま <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上 <input type="checkbox"/> 廃止	
事業単独でみた評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 現状のまま <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上 <input type="checkbox"/> 廃止	
【評価理由】 施策からみると、同一施策内において内容が重複している事業もあると考えられるため、事業内容を整理し、施策目標の達成に向けて、指標を明確化し、他の構成事業も含めて検討することが必要である。 事業単独としては、学校教育を支援する体制になっていないので、学校側のニーズをしっかりと把握し、学校側が困っていることに対して、しっかりとマッチング出来るように取り組むことが必要である。			
意見・指摘事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標「質の活動指標」は成果が図れる項目を設定すること。 (マッチング率などが考えられる) ・指標を明確化し、施策の目的に合うようにすること。 ・施策内の他の構成事業との重複部分を見直すこと。 			